

2018カヌースプリント・ナショナルチーム<シニア日本代表>の選考について

強化部

1 基準タイム

K4 500m	K2 1000m	C2 1000m	K1 1000m	C1 1000m	K1 500m	K1 200m
1' 21" 5	3' 18	3' 40	3' 37	4' 00	1' 40	35" 5
WK4 500m	WK2 500m	WK1 500m	WK1 200m	WC2 500m	WC1 500m	WC1 200m
1' 36	1' 45	1' 54	40" 0	2' 09	2' 15	49" 9

- ・ 2018年3月の海外派遣選手選考会において、シングル種目、ペア種目、フォア種目で基準タイムに達した内の上位の選手及びクルーは、日本代表選手となる資格を有する。
- ・ 基準タイムに達する選手・クルーがない場合、シングル種目の日本代表候補選手合宿において複数回のタイム測定を行う。基準タイムに達した選手は、日本代表選手となる資格を有する。
- ・ チームボートにおいては、日本代表候補選手合宿で編成をおこない基準タイムに達したチームボートは日本代表となる資格を有する。

2 日本代表候補選手

- ・ 日本代表候補選手のメンバーは下記に掲げる1～4のステップの合計ポイントが上位であった選手から選ばれる。
- ・ 日本代表候補選手はナショナルチームの前段階であり、ステップ5である日本代表候補選手合宿で行われるシングル種目での基準タイムを目指した複数回のタイム測定を行う。
- ・ オリンピック種目を考慮し、日本代表候補選手として標準タイムをクリアした選手の中から、下表のとおり選考する。

カテゴリー	K1000m	K 500m	K 200m	C1000m	WK500m	WK200m	WC500m	WC200m
最大数	2	4	1	4	4		4	

- ・ チームボートにおいては合宿内で編成し、基準タイムを目指した複数回のタイム測定を行う。
- ・ 日本代表候補選手は6～7週間の合宿期間中のみ有効となる呼称である。合宿期間終了後に選考委員会により日本代表選手が決定される。

3 グリーンカード

- ・ 前年度の世界選手権において、オリンピック種目でのA決勝進出者及び2018年アジア大会で1位の選手はステップ1～4に参加することなく2019年度日本代表候補選手となる。
- ・ 専任コーチは次の場合、合宿への参加に選手を推薦することができる。
  - ① 将来の有望選手と認めた場合、年度内の強化合宿
  - ② 上記大会成績に匹敵する実力があると認めた場合、日本代表候補選手合宿
 決定は、常務理事会とし、合宿に参加する際は、自費にて参加とする。
- ・ 負傷した選手については、最低限ステップ4には参加すること。連盟が指定した医師による診断書の提出が必要である。

#### 4 種目別選考ルール

別紙「日本代表選手選考までのステップ」参照

#### 5 負傷した場合の対応

負傷した選手は連盟が指定する医師による、受傷により参加が不可能である旨の証明の提出が必要となる。

#### 6 選考ステップ

- ・ ステップ1：日本選手権 小松 2017年 9月 = 満点30点
- ・ ステップ2：冬季体力テスト① 小松 2017年12月 = 満点18点
- ・ ステップ3：冬季体力テスト② 小松 2018年 1月 = 満点18点
- ・ ステップ4：海外派遣選手選考会 坂出 2018年 3月 = 満点34点
- ・ ステップ5：日本代表候補選手合宿 小松 2018年 4月～5月

#### 7 点数表

- ・ それぞれのステップで選手が順位によって獲得する得点は以下のとおりとする。
- ・ ステップ4の海外派遣選手選考会の後に点数の多い選手から日本代表候補選手合宿のメンバーを選考する。

FINAL	RANK	日本選手権	12月	1月	派遣選手選考会
A	1	30	18	18	34
A	2	26	17	17	30
A	3	24	16	16	28
A	4	22	15	15	26
A	5	20	14	14	24
A	6	18	13	13	22
A	7	16	12	12	20
A	8	14	11	11	18
A	9	12	10	10	16
B	10	10	9	9	10
B	11	9	8	8	9
B	12	8	7	7	8
B	13	7	6	6	7
B	14	6	5	5	6
B	15	5	4	4	5
B	16	4	3	3	4
B	17	3	2	2	3
B	18	2	1	1	2

## 日本代表選手選考までのステップ

ステップ1 日本選手権 2017年9月 (点数：30～2)

目的：ナショナルチームの追加もしくは入れ替えを行う

内容：

## ◇ 男子カナディアン

C-1 1000mのみを対象とし基準タイムを基にA決勝・B決勝出場した選手のうちから、右漕ぎ・左漕ぎを考慮し選考する。

## ◇ 男子カヤック

K-1 1000m・500m・200mを対象とし基準タイムをもとに選考する。  
なおステップ2以降に関しては、K-1 1000m・500mもしくはK-1 500m・200mを選ばなければならない。

## ◇ 女子カヤック・カナディアン

WK-1、WC-1 の500m・200mを対象とし基準タイムをもとに選考する。

ステップ2 冬季体力テスト① 2017年12月 (点数：18～1)

目的：陸上における体力テストをおこなう。

内容：

## ◇ エルゴテスト (平均ワットランキング)

- |            |            |          |     |
|------------|------------|----------|-----|
| ・ 男子カヤック   | 1000m・500m | ストローク75  | 2分  |
| ・ 男子カヤック   | 200m・500m  | フリーストローク | 45秒 |
| ・ 男子カナディアン | 1000m      | ストローク55  | 4分  |
| ・ 女子カヤック   | 200m・500m  | ストローク75  | 2分  |
| ・ 女子カナディアン | 200m・500m  | ストローク55  | 2分  |

## ◇ ベンチプル・ベンチプレス

- |      |            |      |     |
|------|------------|------|-----|
| ・ 男子 | 1000m・500m | 40kg | 2分  |
| ・ 男子 | 200m・500m  | 60kg | 45秒 |
| ・ 女子 | 200m・500m  | 30kg | 2分  |

## ◇ 懸垂：時間制限なしでの上限

## ◇ 水泳：300m

## ◇ ランニング：1200m/4本 2分レスト 合計タイム

## ◇ 全テストをランキング形式で並べ、上位18点から下位1点までのポイント配布

## ◇ 最終ランキングはポイントの集計であり、ステップ2と3はそれぞれ18～1までの点数が配布される。

ステップ3 冬季体力テスト② 2018年1月 (点数：18～1)

目的：陸上における体力テストをおこなう。

内容：ステップ2に同じ

#### ステップ4 海外派遣選手選考会 2018年3月(点数:34~2)

目的:日本代表選手及び日本代表選手候補の選考

内容:

- ◇ シングル種目、ペア種目、フォア種目で基準タイムに達した内の上位の選手及びクルーは、日本代表選手となる資格を有する。
- ◇ ランキングは1000m・500m・200mのカテゴリー及び距離毎の合計ポイントとする。
- ◇ 男子カナディアン  
1000mのみを対象とし基準タイムをもとにA決勝・B決勝出場した選手のうちから、右漕ぎ・左漕ぎを考慮し選考する。
- ◇ 男子カヤック  
1000m・500m・200mを対象とし基準タイムをもとに選考する。
- ◇ 女子カヤック・カナディアン  
500m・200mを対象とし基準タイムをもとに選考する。

#### 最終ステップ 日本代表候補選手強化合宿 2018年4月~5月

目的:強化合宿において複数回のタイムトライアルを行い、基準タイムを突破した者を日本代表選手に選考する。

内容:

- ◇ チームボートにおいては合宿内で編成をおこなう。
- ◇ シングルでの基準タイムを目指した複数回のタイム測定。
- ◇ チームボートでの基準タイムを目指した複数回のタイム測定。

※ 全てのタイム測定について気象条件は、考慮しない。